



～夢の素材をつくる 花と絵と音楽と水のある学校～

国立二小だより

平成27年3月24日
国立市立国立第二小学校
校長 小林 理人

3月最初の全校朝会で、子供たちに「3月は『感謝』という言葉を意識して生活しよう」といった話をしました。「感」は、自分の成長を応援してくれた人、支えてくれた人に対して思いをもつことです。そして、「謝」はその思いを言葉にしたり行動に表したりすることです。3月を振り返ると、どの学年の子供たちもこの『感謝』を意識し、1年間のまとめにふさわしい月になりました。

職員室横の掲示板には、卒業を前に6年生が自分の気持ちを素直に表現した俳句が掲示されています。

「卒業へ 向かう列車は 加速する」

夏休みが終わり、6年生は「卒業」に向けての取り組みが始まりました。まだまだ先の話のように思えた「卒業」がとうとう目の前に・・時は待つはくれません。

「6年間 始めと終わりの 桜道」

校門から校舎へと続く花道を飾る桜の蕾も膨らみ、新しい学年、学校に進級・進学する子供たちを祝福しています。

1年間を振り返ると「楽しい学校を目指して、目標や課題をもって活動する。」ことや「あいさつ・けじめ・言葉遣いを実践し、きまりを守る。」ことを中心に取り組んだ**1学期**は、運動会や校庭芝生化に向けた工事への対応等、学校全体で一つのことをやり遂げることや、みんなで理解し合い協力し合って生活することができました。

そして、1学期にできるようになったことを基盤とし、「楽しい学校を目指して目標や課題の実現・解決に力を合わせる。」ことや「集団の一員としての自覚をもち、自分の力を発揮し、表現する。」ことを中心に取り組んだ**2学期**は、芝生校庭の完成や遠足、展覧会、音楽会などの行事の中で、一人一人の成長を確かめ、学習の成果を生かしたり、発表したりすることができました。

また、「課題解決の実践を深め、1年間のまとめをする。」ことや「自分の成長を確かめ、楽しく学ぶ校風を育む。」ことを中心に取り組んだ**3学期**は、新年度に向けての準備や、お世話になった学校や友達への感謝の気持ちをもったり、伝えたりすることを中心に取り組みました。6年生を送る会や縦割り班の活動、避難訓練等では、1年間の学校としての高まりや子供一人一人の大きな成長を強く感じ、うれしくなりました。

さらに、今年度から始めた「皆勤賞」の取り組みですが、1学期は230人、2学期200人、そして3学期は251名（内1年間を通した皆勤者115名）の子供たちに「1日も学校を休まなかった証」「皆勤賞」を手渡すことができました。体調管理、健康管理が継続してできたことは大変素晴らしいことであり、ご家庭のご協力にあらためて感謝いたします。

「卒業日 流す涙で 強くなる」

明日の卒業式。学校全体で取り組む最後の学校行事です。6年生にとって最高の巣立ちの1日になるように・・・。平成26年度の国立二小の教育活動の最高の締めくくりになるように・・。そして、流した涙でみんなの絆がさらに強くなるように・・・・。

1年間、本校を応援、そして、支えてくださり「ありがとうございました。」